



今後の霧島市の成長戦略は

植山 利博 議員

問 本市の成長戦略、少子高齢化対策、環境整備をどのように進めるのか。

答 本市は、多くの魅力やポテンシャルを有している。これらを活かし観光振興や企業誘致の促進、農林水産業の経営基盤の強化、働く場の確保と若者の地元への定着化を図る。

霧島市立医師会医療センターの建設は地元業者の参画を

問 医療センターの建設は、地元業者が参画できる配慮はされているか。

答 市内業者の健全育成、雇用拡大、経済波及効果を鑑み、地元企業を活用する。駐車場整備、既存の手術棟改修や、病院の解体工事などは、市内業者に発注する。

「こども館」を活用した子育て環境づくり、霧島市雨水管理総合計画」による効果的な浸水対策、市街地の交通渋滞緩和、新型コロナウイルス感染症対策や感染の収束後を見据えた経済対策を迅速に講じる。また、地域医療体制の充実、循環型社会の形成、道路ネットワークの構築、土地の



詳しくはこちら



命を守る防災・浸水対策計画の加速化と十分な説明を

久保 史睦 議員

問 市道姫城中央線の高低差はどれくらいか。

答 最低地点はAコープ姫城店南西側交差点で、ここから松永用水は3.9m、堤防道路は2.4m、県道日当山敷根線との交差点は4.9m高い状態である。



一人ひとりを守る支援を

問 コロナ禍で心の不調や悩みを抱えている方は多い。ストレスや落ち込み度をチェックできる「心の体温計」を導入できないか。

答 「心の体温計」は、利用者が自身の心の状態に気づけるツールである。先進事例を参考に調査研究する。

その他の質問

・誰一人取り残さない教育環境の整備について



詳しくはこちら



新型コロナウイルスワクチン接種を迅速に

前島 広紀 議員

問 本市の、高齢者のワクチン接種は7月中旬に完了するのか。

答 7月中旬に終わることを目標に推進している。

6月14日現在、高齢者の1回目の接種率は47.3%である。当初はワクチンの供給量が少なかったため、接種人数が限られていたが、現在は十分な供給量があり、集団接種の予約枠の拡大や医療機関における個別接種についても接種人数が増加している。また、高齢者施設の従事者も同時に接種できることから接種券を送付している。

旧清水保育園の有効活用を

問 今後、地域の方が活用できる考えはないか。

答 現在は、新型コロナウイルス感染症対策のため購入したマスク・防護服や、災害時に避難所で使用する簡易ベッド等の保管場所として活用している。ほかに場所がないことから、当面の間は引き続き使用する予定である。

その他の質問

・各地区自治公民館がつくる「地域まちづくり事業実施計画書」に基づく要望の対応について



詳しくはこちら



中山間地域の思い切った人口増加対策を

前川原 正人 議員

問 市周辺部では人口減少が続いている。若者を呼び込むために、格安の宅地分譲など実施し、思い切った活性化策が必要ではないか。

答 第2期霧島市ふるさと創生総合戦略に基づき市の魅力をPRし、移住定住補助制度の拡充や光ブロードバンド整備など、活性化施策を推進していく。

コロナ感染症に使える財源は積極的な活用を

問 新型コロナウイルス感染症の影響で国は、国保税・介護保険料減免に対する財源を支援するが、本年度はどう対応するか。また、同感染症対応地方創生臨時交付金は

その他の質問

・会計年度任用職員の労働条件について
・教育行政について



詳しくはこちら



高齢者へのワクチン接種の課題を今後の接種体制に活かす

宮内 博 議員

問 高齢者へのワクチン接種で明らかになった課題がある。予約年齢の細分化やコールセンターの増員、受付窓口の「一本化」、予約の事前配布などにより改善できないか。医療機関の現場の声を聴き必要な支援を行う考えはないか。

答 コールセンターは、回線を21回線に増やした。医療機関からも事務量の増加の相談があり、負担のかけられない手法を検討している。予約年齢の細分化も検討する。64歳以下の接種券と予約票は同封して送付する。

早期の豪雨災害対策を

問 現在の浸水対策は、5年間で「床上浸水解

答 現計画で、浸水対策は大きく改善される。天降川の堆積土砂が撤去されれば河川の流下能力が上がることになるので、引き続き県に要請する。

その他の質問

・ごみ処理問題について
・市内で生活する外国人の問題について



詳しくはこちら



命を守る交通安全ルールの推進を

川窪 幸治 議員

問 交通ルールの遵守と正しい交通マナーの向上の啓発運動の推進はどうか。

答 本市では、「霧島市交通安全計画」に基づき「人優先」の交通安全思想を基本とした施策を推進している。全国交通安全期間中は、警察や関係団体と合同で、通学路や横断歩道での児童の事故防止や、交通ルール遵守などを掲載したのぼり旗やマナー向上懸垂幕を掲示している。幼児や小学生、高齢者向けの交通安全教室では、信号機の見方や横断歩道の渡り方、自転車の乗り方などの交通安全教育を推進している。また、県主催のナイトスクールでは、自動車学校で夜間歩行を体



その他の質問

・国分中央高校の現状と今後について



詳しくはこちら